

今尾ゼミ紹介

❖はじめに

こんにちは。今尾ゼミ第20期ゼミ長の菊池です。3年次から始まるゼミでは、それぞれに興味のある分野についてより深く学んでいくこととなりますが、法学部では多くのゼミが開講されていることもあり、どのゼミに所属するか迷っている方も多いかと思います。ここでは今尾先生の人柄や普段のゼミの活動を中心に紹介していきますので、みなさんがゼミを選ぶ際に参考にいただければと思います。

❖今尾先生の人柄

今尾先生はユーモアあふれる、気さくで優しい先生です。飲み会は勿論のこと、今年の夏合宿では、生徒とともに川遊びにも参加してくださいました。

しかし、勉強面に関しては、生徒に高い質と量を求めます。ゼミの議論中にも厳しい指摘や批判をすることによって、問題の表面ではなく本質についての議論へと導いてくれます。今尾先生は、“勉強をするときはしっかりやる、遊ぶときはしっかり遊ぶ”をモットーにゼミを盛り上げてくださる、公私ともに尊敬できる素晴らしい先生です。



▶ 今尾 真 先生



▶ 20期生でゼミ後に飲み会！

❖20期ゼミ生

今年度は、女子学生7名、男子学生4名の計11名でゼミに取り組んでいます。学科別の構成は、法律学科9名・消費情報環境法学科2名です。今年は例年に比べ11名と少人数ですが、少ないからこそとても仲が良く、飲み会や昼休みなど、ゼミ以外でも多くの時間を共に過ごしています。何事にも全力で取り組み、互いのことを想い合える、いい仲間です。

❖ 勉強面

今尾ゼミでは民法判例百選掲載の財産法分野の重要判例を中心に勉強します。その際、判例の概要を何となく理解するだけでなく、当該判例における事実の整理・主張や抗弁の抽出・結論の妥当性の当否・判決の論理構成・法的論理の事案への当てはめ・類似の先例研究や学説等を分析することによって、自分の頭で考える訓練を繰り返し行います。

ゼミの進め方は、3～4名程度で構成されるグループでサブゼミ(グループごとに行う事前の勉強会)を行ったうえで本ゼミに出席するという流れになります。本ゼミでは報告担当グループの発表を30分ほど聞いた後、残り時間で全員の討議によって議論を深めることで問題点の解明に当たります。

▶ 各々の学習の成果を発揮するゼミ



報告班か否かを問わず、判例の読み込みや学説の研究を行いゼミに臨む必要があります。これは活発な議論をしていく上で不可欠のことであり、相当の勉強量が求められます。初めのうちは苦勞することも多いと思いますが、日々のゼミ活動を通じて実力の向上を実感できるのはとても貴重な体験であると感じています。

▶ 祝・1位2位獲得！！



他ゼミとの交流としては、毎年、畑ゼミとの合同討論会や法学部最大のイベントである法律討論会に出席しています。今年度の法律討論会においては、今尾ゼミから2グループ出場し、日頃のゼミで得た知識・討論の力を発揮したことで、1位・2位を独占することができました。ほかにも、大木ゼミや黒田ゼミとの合同ゼミなどを予定しており、1年間を通じて目標を持って勉強に望める良い環境であると思います。

❖ 親睦面

一見勉強ばかりのゼミに思えますが、月に一度の飲み会は今尾ゼミ恒例のイベントです。その他、ゼミ合宿、各種イベント開催・参加といった他ゼミ間との親睦活動に加え、毎年5月にはOB会が開催されます。今尾ゼミでは、ゼミが一生に亘る仲間作り、多様・多彩な人脈作りの場になっています。

今年の夏合宿では宮崎に赴き、宮崎産業経営大学の明石先生のゼミと合同合宿を行い、討論のほか、宮崎の素晴らしい自然の下、観光名所巡り・川遊び・BBQ・飲み会等をして、親睦を深めました。

❖おわりに

大学3年の学生生活の中心ともなるゼミを選択するということで、迷っている方はたくさんいらっしゃると思います。そして実際にゼミに入ってからでないと、分からないこともあるでしょう。

ひとつ言えることは、短い大学生活の中で、何か一つでも本気で取り組めば、それは必ず自分の糧になるということです。私はゼミに入るまで、大学生活の中で、自信を持って頑張ったといえるものはありませんでした。しかし今は、ゼミを通して全力で勉強に取り組んだと胸を張り、言うことができます。

尊敬できる先生・信頼し合える仲間たちと過ごす毎日かけがえのないものです。みなさんの残りの学生生活が、ゼミを通して今よりももっと充実したものになればと思います。

長くなりましたが、今尾ゼミに興味を持って頂けましたらぜひ見学に来てください。ゼミ生一同、お待ちしております！

▶ みなさんの参加をお待ちしております！！

